



「灯」欄も今月で終了するとのこと。

思いがけない縁で21年間、この最終回が217回目となる。勝手な独りよがりなことを書いてきたが、時々感想の手紙やメールを頂いたり、思わぬところで「読んでますよ」と声をかけられたりしたものだ。このようなコラム欄に文を書くことによつて随分と鍛えられたと感じている。鍛えられてこの

儀流の私の～書く



草野 義輔

文章になってしまえば意味がない。恐らく最初に書いてから仕上げるまでに10回は書き直したりと手を入れることになる。

一通り原稿がまとまると印刷して机の片隅にポンと置いておく。仕事の手が少しすいた時、それを読み返すと以前気づかなかつた不具合が見つかり、また訂正をする。それを1週間ほど経過させるとようやく完成、となる。

程度か、という声も聞こえるが…。
一番鍛えられたのは字数制限だ。私の文の書き方は、書きたい事が決まるととりあえず一気に書く。おおむね800字くらいになることが多い。そこから制限の540字までいかに削るかが難題で、削りすぎて趣旨の通らない

語彙が豊富であればそれだけ表現の幅が広がるはずだ。語彙を増やすには読書が一番。本好きであったことが大いに役立ったと思っている。長いこと拙文にお付き合いいただき、ありがとうございます。

(昭和学園高校理事長・日田市)